

学校法人 八戸工業大学 建学の精神

# 「正己以格物」

（己を正し以って物にいたる）

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の錬磨を象徴的に表す『正己以格物』<sup>せいき いかくぶつ</sup>（己を正し以て物に格る）を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

## □教育理念

### 「良き技術は、良き人格から生まれる」

本学は、建学の精神として「良き技術は、良き人格から生まれる」という理念をもっています。この建学の精神は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味し、本学の目指す教育理念そのものです。

## □使命・目的

学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めると共に、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与する。